

説明会・公開行事

入試関連イベントの
情報はこちから



学校説明会
事前予約

5/22(土) 10:00~11:30
授業見学あり

6/19(土) 10:00~11:30
※施設見学、個別相談(希望者)あり。
授業見学あり

わくわくオープンスクール
事前予約

7/17(土) 9:30~12:00
※親子で参加できる、楽しいプログラムがあります。(年長親子には、入試問題体験あり)
※募集要項説明あり。

入試説明会
事前予約

8/28(土)・9/11(土)・10/30(土) 10:00~11:30
※年長親子対象。
※昨年度入試問題体験あり。

公開行事
事前予約

運動会 5/16(日) 聖徳祭 10/17(日)
※運動会雨天延期の場合は17日(月)
※運動会・聖徳祭は、午前(2・4・5年)・午後(1・3・6年)の2部制。
ミニ見学会を予定。(ミニ見学会は、1ヶ月前10:00~Web予約開始)

Pあり

◎事前にご予約ください。(2ヶ月前10:00~Web予約開始。それぞれ締切日あり)
◎個別の授業見学、随時受付中。お電話にてご予約ください。(電話受付時間)月曜~金曜9:00~16:00 土曜9:00~14:00
※天候・感染症等の影響により、変更する場合があります。ホームページ等でお確かめください。

試験
日時

【専願/Ⅰ期】 2021年10/9(土) 9:00開始
【Ⅱ期】 11/13(土) 9:00開始
【Ⅲ期】 12/4(土) 9:00開始
【Ⅳ期/編入】 2022年1/15(土) 9:00開始



聖徳大学附属小学校

〒270-2223 千葉県松戸市秋山600 TEL.(047)392-3111代表 FAX.(047)391-4519

E-mail shogaku@wa.seitoku.ac.jp

<https://seitoku-primary.ed.jp/>

聖徳附属小 検索



21.04.3,5.DE.3b



聖徳大学附属小学校

学校案内

2022年度

“つながる”聖徳の和の心



“つながる”聖徳の和の心

本校教育の特色には「小笠原流礼法」授業、異学年グループの「明和班」、そして集会や行事を中心とした「総合学習活動」があります。それらは教科学習における基礎学力の徹底や、中学受験ならびに将来に向けた発展的な学習と併せて、本校人間教育の両輪となっています。

学校生活で身につく様々な力は、ばらばらに存在するのではありません。すべてが関わりあって存在しています。礼法授業で修得する自制心は、教科学習の場で粘り強く考える力となり、明和班活動で養われる思いやりの心は、級友たちと力を合わせて課題

に取り組む協働学習の場において發揮されます。総合学習活動として取り組む全校集会や運動会、校外学習、総合文化祭の「聖徳祭」などの行事で培われる力は、未来をたくましく生き抜く力となります。

そのような力を自分のものとした「聖徳の子」たちが、他者と力を合わせてより良い社会づくりに向かって行く姿を“つながる”という言葉に表しました。礼儀正しさと思いやり、そして生き抜く力を兼ね備えた「聖徳の子」たちの活躍をどうぞご覧ください。



「本物」に触れる感動の中で、お子さまの人間的成長をめざします。

単に教科書やインターネットから知識を得るだけではなく、「本物」を見て触れて確かめることによって子どもたちは驚き、不思議に思う気持ちが芽生えます。その感動が、不思議を解き明かそうとする探究心を育むのです。人と響き合い、外の世界と響き合う心の育成。その心がベースとなって養われる、「礼節・知育・勤労」が融合した人格形成。本校は、こうした教育環境を生かし、本校でしか実現できない「本物」の人間教育の理想を今後もめざしてまいります。

聖徳大学児童学部児童学科 教授
聖徳大学附属小学校 校長 三須 吉隆



建学の精神「和」

未来に生きる 学力をめざして

教科学習

質の高い学習課題を学び合いながら解決し、考えのプロセスを自分の言葉で書いていきます。「本物」の思考力・表現力を授業の中で育てます。

思いやる心 をめざして

礼法教育・明和班

小笠原流礼法師範による週1回の「礼法」授業により、正しい礼儀作法を学びます。また、学年縦割りの「明和班」では、関わり合いの中で相手を思いやる心を学びます。

響き合う心 をめざして

総合学習活動

「本物」の文化・芸術に触れる体験や、子ども主体の集会活動によって、豊かな感性や社会性を育てます。学校生活の中で響き合いながら子どもたちは成長していきます。

校長挨拶	P01
建学の精神	P02
6年間の成長物語	P03
授業への取り組み	
算数	P05
理科／生活科	P06
国語	P07
英語／道徳	P08
音楽／図工ワークショップ	P09
社会／家庭科	P10
小笠原流礼法	P11
明和班／会食	P12
総合学習活動	P13
聖徳の子の一日／時間割	P14
聖徳の年間行事	P15
緑に囲まれた学習環境	P17
進路指導	P19
卒業生・保護者からのメッセージ	P20
放課後スクール／防災対策と安全対策	P21
制服／沿革	P22

6年間の成長物語

本校では児童の6年間の成長を、1・2・3年生の低学年と、4・5・6年生の高学年に分けてとらえています。低学年では、繰り返し練習したり覚えたりすることを通して、学習習慣・生活習慣の基盤づくりを行います。高学年では、学級での話し合いや学び合いにより、クラスメートとの交流の中で学力を伸ばします。その低学年と高学年の橋渡しをするのが、4年生で参加する2泊3日の「勉強合宿」。この合宿をきっかけに、高学年の学びへと意識を高めていきます。

低学年



久保田 直子 先生

学校生活を通して、自分の考えをしっかりと表現する

低学年の児童には、まず授業に参加するための基本的なルールをきちんと身につけてもらうように指導しています。また、発表の時には進んで手を挙げ発言できる学級の雰囲気を大切にし、1分間スピーチや学習感想文など、自分の気持ちを言葉や文章でしっかりと表現できるような取り組みにも力を入れています。低学年のうちから学校生活を通して自主性を伸ばし、自分の考えをしっかりと表現できる聖徳の子になって欲しいと考えています。

高学年



稲葉 幸一 先生

自ら学ぶ意識を高めて受験に臨む

高学年では中学進学という共通の目標に向けた「基礎・基本の定着」と「子どもたちの“問い合わせ”引き出す導入の工夫や、解きたくなる魅力的な教材作り」を心掛けています。自ら考えた“問い合わせ”が動機づけとなり、より発展的な学習につながります。また、「明和班」活動では会食や行事の場において、「班長」としての自主性・主体性を育んでいます。自分の立場や役割を意識した下級生との関わり合いの中から、体験に裏付けられた社会性を学びます。その成果は、学校や家庭、地域社会での生活はもちろん、受験への意欲や学習にも確実に結びついています。

学習習慣・生活習慣の基盤づくり

活用型学力や自主性・主体性の育成

1年

2年

3年

4年

5年

6年

見て聴いて話して学ぶ

協働の学び (学び合いなど)

《知育》

自律の学び
(練習・達成学習など)
漢検10級／数検11級
言葉あつめなど

読書感想文1200字

漢検9級／数検10級
熟語あつめなど

読書感想文
1600字

漢検8級／数検9級
都道府県名など

コース別授業 ※4年生の3学期から6年生の2学期まで

読書感想文2000字

漢検5・6級／数検7級
選択課題／自由課題など

漢検2・3・4級
自由課題など

正しい作法を学ぶ

《礼節》

礼 法
明和班
折形「かいしき」など

基本的に立ち居振る舞いを身につける
●立つ ●座る ●お辞儀 ●箸の扱いなど

折形「箸包み」など

作法の奥にある相手に
●公共のマナー

折形「鶴の箸置き」など

対する心づかいを学ぶ
●食器の扱い ●ステイマナーなど

折形「祝いかぶと包み」など

美しい作法を学ぶ

明和班

相手に対する思いやりの心をTPOに応じた形で表す
●おもてなしの作法 ●式典の作法など

折形「鶴のお年玉包み」など

紐結び「菊花・叶結び」など

感謝の気持ちを表す(毎日の会食など)

素直に「ありがとう」と言える

高学年の気持ちに応えて行動できる

いたわる気持ちを表す(毎日の会食など)

低学年のお世話ができる(毎日の会食・運動会・望月校外学習・全校遠足など)

明和班班長

リーダーシップを身につける

《勤労》

明和班
特別活動など

係活動・当番活動・清掃活動

委員会活動・会食当番・清掃活動

聖徳

オリジナル
カリキュラム
望月校外学習(2泊3日)

リズム劇

音楽劇

群読劇

演劇

和太鼓演舞

卒業演奏

伝統行事(こいのぼり・七夕まつり・もちつき・豆まき・ひなまつり)

学習新聞

勉強合宿

シンガポール修学旅行

世界遺産見学(富岡製糸場)

シリーズコンサート

(親子音楽鑑賞会) ※年3回

望月校外学習



異学年が一緒に参加する、全校あげての3泊4日の宿泊体験。長野県佐久市春日温泉(旧望月町)にある自然に囲まれた聖徳学園セミナーハウス「かすがの森」に泊まります。飯ごう炊さんやキャンプファイヤーなど、上の学年が下の学年をサポートしながら活動します。子どもたちには毎年人気の行事です。※1年生は2泊3日

富岡製糸場見学



世界遺産に登録される前からその価値に注目し、3年生と6年生が見学しています。「本物」を目にすることが、日本の歴史を豊かに学ぶきっかけとなります。熱心にメモする姿勢から、関心の高さがうかがえます。

全校遠足



明和班の仲間が一体となり、力を合わせてオリエンテーリングを行います。普段の学校生活から本当の兄弟姉妹のように生活してきた聖徳の子どもたちは、お互いの気持ちを一つにしてたくさんポイントをクリアしていきます。

卒業演奏



6年生全員でクラシックの名曲を取り組みます。力を合わせて一つの曲を作り上げていくことで協調性を身につけ、同時に音楽の楽しさや奥深さを学んでいきます。一見難しい曲も、子どもたちの特性に合わせた楽譜を作成しているので、楽しく演奏できます。

未来に生きる学力をめざして

中学受験とその先を見据えた「本物」の学力を養います。

教科学習



「数と計算」 「図形」「測定」 の領域

入試対策・先取り授業（中学の数学）

◆分数の計算
(6年生の内容)

◆小数・分数の計算
(5・6年生の内容)

◆小数の計算
(4・5年生の内容)

◆かけ算・わり算の筆算
(3・4年生の内容)

◆かけ算のあまり／
たし算とひき算
(2・3年生の内容)

◆かけ算九九の意味
◆たし算・ひき算の筆算
(1・2年生の内容)



加藤 駿 先生

電子黒板や手作り教材を使って 算数の“たのしさ”を伝える授業を。

本校では基礎・基本を活用した発展学習カリキュラムを採用していますが、解答までのプロセスや考え方を大切にした授業を行っています。児童の疑問やつぶやきを丁寧に拾い上げ、クラスで意見を出し合ながら、答えを見つけていく…そんな問題解決型の学習で子どもたちの力を伸ばします。また、4年生の3学期からコース別での学習が始まりますが、学力・進路にあった教材を使い、時にはゲームやクイズを用いながら、算数の“たのしさ”が伝わる工夫をしています。



先生の手作り教材

『図形』は面積を求める
のが難しいけど、そこが
楽しかった！

別解があるのが
面白い！

先生のお話が
面白い！

理由をよく考えさせてから、
結果を丁寧に説明してくれる！

カードゲームなどを使って
より理解を深められた！

※4～6年は週4時間

実験・観察学習

【物質・エネルギー】 【生命・地球】

◆小学校理科の復習 ◆応用問題 ◆入試問題

2学期で教科書を終了

◆ものが燃えるしくみ
◆水溶液の性質
◆発電と電気の利用

◆ヒトや動物の体
◆植物のつくりとはたらき
◆月と太陽
◆大地のつくりと変化

◆もののとけ方
◆ふりこのきまり

◆生物と環境(6年の内容)

◆植物の発芽と成長

◆動物のたんじょう

◆台風と気象情報

◆天気の変化

◆電気のはたらき

◆季節と生き物

◆天気と1日の気温

◆地面を流れる水のゆくえ

◆流れる水のはたらき(5年の内容)

◆月と星

◆ヒトの体のつくりと運動

◆風とゴムの力のはたらき

◆生き物をさがそう

◆光のせいしつ

◆植物を調べよう

◆電気で明かりをつけよう

◆こん虫のかんさつ

◆じしゃくのふしご

◆音のせいしつ

◆ものと重さ

◆生き物をさがそう

◆植物を調べよう

◆電気で明かりをつけよう

◆こん虫のかんさつ

◆じしゃくのふしご

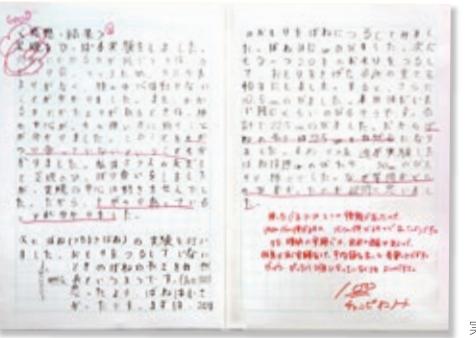
◆音のせいしつ

◆ものと重さ

聖徳独自の問題解決型の学習で 自主的に考える力につける。

理科では一人ひとりが感じた疑問をきっかけに授業に取り組む、問題解決型の学習を行っています。

1つの問題について予想を立てたあと、友達と意見交換しながら結果が出るまでの計画を立てます。そして、実験や観察を通して分かったことを自分の言葉でノートにまとめます。それが、子どもたちの思考力や表現力を育むことにつながります。また、考えをまとめることが苦手だった児童も、継続することで着実に書く力が身につきます。本校には、実験・観察を行う上の環境が十分整えられており、校庭には教科書に出てくる植物なども植えられています。



実際に児童が書いたノート

生活科

体験を通して、自分のよさや 成長を感じとります。

生活科は、身近な環境と自分とのつながりに気づき、自立への基礎を養う教科です。本校の自然豊かな校庭で季節の生き物や植物を観察したり、アサガオやミニトマトを育てたりする中で、命の尊さを学んでいます。また、郵便局の仕事を体験する「聖徳ゆうびんきょく」、日本の伝統行事を体験する「豆まき集会」や「ひなまつり集会」などを、子どもたちの手でつくり上げていきます。これらの活動を通して、自分と友達、学校、家族との関わりを深め、自分のよさに気づき、自立の“芽”を養っていきます。



国語

	話す・聞く活動	読む・書く活動	漢字検定
6年	◆話し合い ◆討論 ◆スピーチ	◆伝え合いを通して読み深め(物語・説明文) ◆てのひら文庫賞 読書感想文(2000字以内)	◆最高準2級まで 高校在学程度 ◆最高5級まで 中学校在学程度
5年			
4年	◆「話す・聞く」の型に基づいた話し合い ◆音読(群読・古典) ◆ことわざ ◆1分間スピーチ	◆作文指導 ◆環境日記 ◆てのひら文庫賞 読書感想文(1600字以内)	◆7級 小学校4年生修了程度 ◆8級 小学校3年生修了程度
3年			
2年	◆声のものさし ◆発表のサイン ◆音読(詩) ◆1分間スピーチ ◆対話	◆ミニ作文 ◆読書カード ◆てのひら文庫賞 読書感想文(1200字以内)	◆9級 小学校2年生修了程度 ◆10級 小学校1年生修了程度
1年			



すべての学習の基盤となる 「国語力」をしっかりと育て上げます。

国語はすべての学習の基盤になるとと考え、本校では基礎・基本の徹底と、思考力・判断力・表現力を育成の指導にあたっています。「話す・聞く」活動では低学年での一人ひとりの取り組みを対話的な活動に移し、高学年での「討論」につなげます。「読む・書く」活動では、朝読書や作文指導により、総合的な力の育成を図ります。また、自分の考えを発信する活動を通して生きる力を養います。漢字検定を基礎学力向上の取り組みの一つとして位置づけ、全学年が検定に臨んでいます。

チャレンジ 読書

読書はすべての学力の 豊かな根っこ

本校では、いつも1冊の本を身近に置き、読書することをすすめています。100冊チャレンジ、10,000ページ読破。好きな子は学力形成と人格形成とが統合されやすいのです。また、幅広い読書により語彙が増え、言葉が豊かになります。



準2級合格者もいます！

全児童が受検する漢字検定では、高校在学レベルである準2級合格者もいるほど。漢字の先取り学習や毎週の漢字テストにより反復する努力と学ぶ意欲が身についています。日々の学習習慣の集大成ともいえるでしょう。



10年連続最優秀校受賞 (2002~2011年度)

毎年応募している「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクールでは、10年連続で最優秀校賞を受賞。図書の時間や休み時間、登下校の時間などに、日々の読書への前向きな姿勢が見られます。読書をすることにより豊かな感受性も養われています。



書写

本校では、我が国の言語文化に対する関心を深め、豊かな心を育む特別授業として1年生から6年生までの全学年が、隔週2時間の毛筆による書写授業を行います。正しい筆の使い方と美しい文字の書き方といった日本の伝統文化を学び、「書」という美をたしなみます。



英語

	楽しい英語体験活動で 「使える英語力」を育てる	
6年	リーディング&ライティング ◆日本について 発信しよう ◆過去形まとめ ◆環境問題について 考えよう	スピーキング&リスニング ◆スピーチフェスティバル 『私の夢』 ◆シンガポール修学旅行 報告会
5年	◆世界の国々について 調べよう ◆want to の使い方 ◆過去形	◆会話力 文章理解 ◆シンガポール修学旅行で 必要な会話練習 ◆聖徳小や日本文化の紹介
4年	◆簡単な文章を作ろう ◆否定文・疑問文 ◆手紙を書こう ◆前置詞	◆作文 ◆日常生活の 単語・会話 ◆好きなことを 紹介しよう (like to の使い方)
3年	◆短いお話を読もう ◆簡単な動物の 説明文を書こう	◆お気に入りの おもちゃを発表しよう ◆can・can't の使い方
2年	◆簡単な単語を書こう ◆名刺(自己紹介カード)を作ろう	◆基本表現を学ぶ ◆ものの貸し借り 等の簡単な会話 ◆フォニックスを学ぼう
1年	◆アルファベットを学ぼう ◆英語を使って遊ぼう	◆あいさつ ◆自己紹介 (名前・歳・好きな ものについて)



“使える英語”を通して異文化・ 異言語理解教育を目指します。

加速的に進展するグローバル化への対応策の一つとして、小学校外国語教育の重要性や期待が増してきています。本校においても英語教育を重視し、独自のカリキュラムに則り公立小学校に先んじて1学年より週2単位時間行っています。学長を始め、校長、大学教員、本校教員等によるプロジェクトチームが一体となってこの教育活動を支えています。子どもたちには早くから英語に触ることで、異文化・異言語をもつ人々と共に生きるための基礎を身につけ、英語を使った交流体験を低学年から体験することで、使える英語の楽しさを実感してもらい、生涯学習としての英語学習の基盤づくりをしていきます。また、英語教育集大成の一環として実施する5学年シンガポール修学旅行の感動体験は、他校に類を見ない教育活動として今後も継続、工夫をして参ります。ご家庭におかれましても英語教育の真の意義をご理解いただきご協力をお願いいたします。



聖徳大学附属小学校
英語教育プロジェクト
ワーキンググループリーダー
聖徳大学 児童学部
児童学科 教授

一ノ瀬 喜子 先生

シンガポール修学旅行

道徳

道徳教育で、心を深く耕し、 種をまきます。

建学の精神である「和」を要として、本校で取り組んでいるすべての教育活動で道徳的価値を育てています。中でも、道徳科の授業を通して自己の生き方を考え、主体的な判断のもとに行動できる力を養い、自立した人間として他者とともによりよく生きるための基盤となる道徳性を養います。

授業では、児童が自ら振り返って成長を実感できるような場面を設定したり、「まとめの時間」で自己評価させたりしています。また、言語活動を充実させるため、「考える道徳」を実践するための場面を設けています。さらに、児童が主体的に考え、判断し、意欲的に行動できるような問題解決的な学習を取り入れています。





	指導の重点	6年間通じて行うもの	聖徳独自のカリキュラム
6年	◆和音の響き ◆曲想にふさわしい表現 ◆歌詞と旋律とのかかわり	(リトミック・発声法・ハーモニー等)	◆卒業演奏(クラシックの名曲に挑む)
5年	◆和太鼓演舞(リズム創作、演奏) ◆学級レパートリー		
4年	◆旋律の特徴 ◆旋律の重なり ◆曲の気分 ◆拍の流れ ◆音色 ◆音の重なり	(童謡・聖徳独自の歌)	◆リコーダー ◆吹奏楽のタペ(合唱奏) ◆学級レパートリー
3年	◆拍子 ◆リズム ◆音の高さ ◆問い合わせ	(ハーモニカ・リコーダー等による合奏)	◆2段式ハーモニカ ◆鍵盤ハーモニカ
2年			◆1段式ハーモニカ
1年			



音楽担当
檜貝 道郎 先生



吹奏楽クラブの児童は夏に、聖徳大学の先生から直接レッスンを受け、「本物」の演奏を目の当たりにすることができます。

「本物」の環境の中で培う音楽と子どもたちの交流

本校は数多くの楽器を所有しており、その数と種類は私立小学校の中でもトップクラスです。また、一番の音楽イベントである卒業演奏は30種類近くの楽器を使い、クラシックの名曲に学年全員でチャレンジする特別な機会です。普段の休み時間にも音楽室を開放して、児童が積極的に楽器に親しめるよう心がけています。音楽に触れるこことをきっかけに、子どもたちがより交流を図れるようになってくれれば良いと思います。



※4～6年は週3時間	調べる学習
6年	◆発展学習 ◆調べ学習 入試問題に挑戦 ◆世界中の日本 ◆校外学習(富岡製糸場見学・松本城見学) ◆日本の歴史
5年	◆私たちの生活と政治 ◆情報と環境と私たちの生活 ◆国土と産業
4年	◆私たちの国土 ◆すすむ千葉県 ◆ごみの処理(清掃工場見学) ◆水はどこから ◆地震からくらしを守る
3年	◆古い道具と昔のくらし(博物館見学) ◆くらしを守る(消防署見学) ◆働く人たちを調べよう (農家見学/スーパーマーケット見学) ◆絵地図をつくろう



身近な例から課題に迫り、社会と関わる興味を引き出します。

社会科は「今」とのつながりを学びます。子どもたちが将来、社会の形成者としての自覚をもって世の中に積極的に関わるように育てていく教科です。そのため、教科書や資料を活用して、子どもたちが社会の事象や事柄を具体的に調べる活動を行い、社会の出来事について考える力を育んでいきます。さらに学んだことを日常生活に生かしていきます。その結果、自分に何ができるか、何をすればよいのかを問いかられるようになります。



図工ワークショップで、“つながる”力を育てます。

専科教諭による図工授業が「図工ワークショップ(WS)」です。体験型のグループ学習を多く取り入れることで、造形的なスキルのみならず、将来役立つコミュニケーション能力も育てます。

また、作品を紹介する小冊子づくりを取り入れ、言葉で伝える力も伸ばします。21世紀型の学力として注目されるチームワークやプレゼンテーション、言語スキルなど、人と“つながる”ための力を、造形体験を通して育てています。



自らの生活をよりよく工夫できる力と、奉仕の心を養います。

家事は将来の家庭生活を送っていくために男女共に必要なことだと考えています。授業での裁縫、料理などを通じて、自らの生活をよりよく工夫する力を持つことを目標にしています。また、つくりたものを周囲の人たちに喜んでもらうといった、思いやりをもって奉仕する心を養っています。



思いやりの心をめざして

礼法教育・明和班



小笠原流礼法

日本伝統の「小笠原流礼法」を取り入れ、人を大切に思い、自分を律する心を育んでいます。

開校以来、本校では正課の授業として、1年生から6年生までの週1時間、学級ごとに「小笠原流礼法」の授業を行っています。教育には「本物」の環境が必要であるとの創立者の考えから、礼法室は、玄関から床の間、土壁まで正式な日本建築にしづらえてあります。授業を受けるために履き替えた清潔な白い靴下で、檜の香りが漂う部屋に入る時、幼いながらも心は洗練されます。小笠原流礼法師範の先生から学ぶカリキュラムは、室町時代以来の武家の礼法が基本ですが、授業では礼儀作法の形の奥にある相手を思う心のあり方を学びます。聖徳学園がめざす礼法教育の目標は『自己を律する強い心と相手を思いやる心を育てる』こととしていますが、特にその場にあったお辞儀と、正しい言葉遣いで挨拶できること、正しい作法で食事をすることなどを、6年間を通じて身につくよう指導しています。



相手に対して心を残す「残心」を心がけた礼を日々実践しています。

履物をそろえることで、気持ちも整います。

お盆を胸の高さにすることで「大切な物」として運びます。

指先をそろえて押し進めることで「どうぞ」の気持ちを伝えます。

《礼儀作法のカリキュラム》

低学年



「立つ」「座る」という基本姿勢や正しいお辞儀などの作法を学ぶ。

- 美しい姿勢やお辞儀の仕方
- 食事の作法など

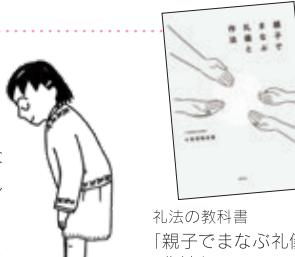
中学年



礼法の本質的な理解のため、日本人の心のあり方などを学ぶ。

- 公共の場所におけるマナー
- 和食の作法など

高学年



思いやる心を形にし、高度な礼儀作法によるおもてなしを学ぶ。

- TPOに応じたお辞儀の仕方
- 抹茶のたて方、いただき方など



礼法の教科書
「親子でまなぶ礼儀と作法」
※礼法授業でテキストとして使用しています。
指導・文: 小笠原敬承斎先生
発行所: 株式会社 淡文社

小学生だからこそ しっかりと身につけたい礼儀作法



礼法担当
見神 美菜 先生

人間の根本になる“自分を律する強い心”と“相手を大切にする優しい心”を子どものころからしっかりと身につける、というのが本校の礼法教育の目的です。子どもたちが礼法の授業で学んだ箸の使い方や玄関先でのマナーなどを、実際に家族や親戚の方たちに褒められたという話を聞かせてくれるのが、教える立場としては一番嬉しいことです。学校の外に出ても普段の生活中でしっかりと実践してくれることが重要なのです。



1~6年生まで構成される「明和班」は、同じメンバーで1年間仲良く活動していきます。

明和班

上級生を敬い、下級生をお世話する「明和班」活動でリーダーの心を養っています。

本校教育の大きな特色の一つに、1年生から6年生までの児童で構成される10人程度の「明和班」活動があります。毎日の昼食である会食や運動会、校外学習、遠足など1年間を通じて一つのグループとして活動します。「明和班」ごとに行われる活動も多く、聖徳の子農園での作業や交流、全校遠足でのオリエンテーリングが代表的なものです。また、普段の休み時間から学年を超えて一緒に遊び、兄弟姉妹のような関係を築いていきます。こうして「明和班」を中心に活動することで、上級生はリーダーとしての能力を発揮し、下級生は「いつかは自分も…」といった憧れを抱き、助け合いの精神を育てながら思いやりの心を育む相乗効果を生んでいます。

代々受け継がれる『班長の心』

次の明和班の班長に渡される『班長の心』。下級生のお世話のコツやリーダーとしての心構えなどがびっしりと書かれています。



4月の新「明和班」の初顔合わせ。ここから1年間、仲を深めていきます。

食堂での会食

全校児童がそろう「会食」では、「食育」を教育の一環として実践しています。

本校は千葉県内では数少ない会食のある私立小学校です。会食は、全校児童がそろって食堂でいただきますが、明和班ごとに中・高学年が食事の配膳を行い、上級生が下級生のお世話をしながらいただきます。月曜から土曜まである会食の中で、子どもたちは隔週1回程度、食品・食材にどんな栄養があるか、どういった調理をしたものが体によいのかという栄養士の先生のお話を聞いています。会食には有田焼の食器を導入しており、「本物」に触れると共に、ものを大切にする心を学びます。

※感染症対策として、各教室で会食をいただくことがあります。



料理を前にしてお話を聞くことで、食物に親しみを感じることができます。



会食に使用している有田焼の食器。

上級生が下級生の面倒をみながら行う「明和班」ごとの会食。(月~土)

響き合う心をめざして

総合学習活動

「本物」に触れ、自然や友達と触れ合う「総合学習活動」で、情操をこまやかに育んでいきます。



3階までの吹き抜けのある「ふれあい広場」。本物の芸術までもが生活の一部です。



国内外で活躍する一流アーティストの演奏を鑑賞することで、「本物」の芸術を感じられます。

本物教育

「本物」に出会う感動から子どもの感受性を大きく開花させます。

幼少期における子どもたちの心の育ちをふまえた「本物教育」としての代表的な行事が、聖徳大学の川並香順記念講堂で年3回開催される親子音楽鑑賞会です。オーケストラ、歌唱など国際レベルの文化・芸術を親子で鑑賞することで、より心に残る行事となっています。また、子どもたちを取り巻く環境にもできる限り「本物」を取り入れています。数多くの楽器を揃えた音楽室や、吹き抜けの「ふれあい広場」を飾る巨大な陶板壁画「生命の樹」・彫刻作品「HANASAKIMORI」もその一例です。

伝統行事

四季折々の伝統文化を通じて日本人の繊細な感性を養います。



5月/こいのぼり集会

聖徳の子の一日

(1年生の場合)



登校

毎朝校長先生が正門で子どもたちに声をかけます。守衛さんが24時間体制で学校を見守ってくれるので安心です。

午前授業



8:15



朝の会

8:30



朝読書

中休み



中庭で一輪車の練習!

12:10



会食

全校児童が明和班ごとに食堂で会食します。お兄さんお姉さんにお手話をしながら楽しく食事します。



昼休み

一輪車の練習をしたり、校庭のアスレチックで思いっきり体を動かして遊びます。

12:45



清掃

13:15



14:10



下校

教員が最寄りの駅まで引率します。

時間割

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
学級活動／朝読書					
1時間目 朝会 道徳科	算数	聖徳タイム 図工	算数	国語	
2時間目 体育	英語	音楽	図工	体育	算数
		中休み			
3時間目 礼法	書写 国語	体育	英語	図書	音楽
4時間目 国語	書写 国語	算数	国語	国語	会食 そうじ
会食(かいしょく) 昼休み／そうじ					
5時間目 国語	生活	国語	算数	生活	
放課後スクール 机上学習／プログラム／放課後預かり					

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
学級活動／朝読書					
1時間目 朝会 道徳科	算数	国語	社会	算数	体育
2時間目 算数	理科	社会	礼法	英語	コース別 国語
3時間目 理科	社会	図工	書写 国語	音楽	コース別 算数
4時間目 理科	英語	図工	書写 算数	理科	会食 そうじ
会食(かいしょく) 昼休み／そうじ					
5時間目 委員会 ／クラブ	国語	算数	体育	算数 家庭	
6時間目 国語	体育	音楽	算数	国語 家庭	
放課後スクール プログラム／放課後預かり					

月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
学級活動／朝読書					
1時間目 朝会 道徳科	算数	国語	社会	算数	体育
2時間目 算数	理科	社会	礼法	英語	コース別 国語
3時間目 理科	社会	図工	書写 国語	音楽	コース別 算数
4時間目 理科	英語	図工	書写 算数	理科	会食 そうじ
会食(かいしょく) 昼休み／そうじ					
5時間目 委員会 ／クラブ	国語	算数	体育	算数 家庭	
6時間目 国語	体育	音楽	算数	国語 家庭	
放課後スクール プログラム／放課後預かり					

【英語】全学年/週2時間

授業や会食、休み時間など、子どもたちは毎日を楽しく笑顔で生活しています。

聖徳の年間行事

たくさんの行事を通じて、
みんなと協調し、やり遂げる大切さを学んでいきます。



- 入学式
- 1年生を迎える集会
- 明和班顔合わせ集会

- 1・2年/こいのぼり集会
- 運動会

普段から広いグラウンドで遊ぶのが大好きな子どもたちが、5月のさわやかな青空の下で思いっきりパワーを発揮します。各学年ごとの競技や演技に力が入るのはもちろん、明和班でバトンをつなぐ「明和班リレー」など、学年や組を超えた競技の盛り上がりもまた聖徳らしさ。先輩後輩からの励ましの中で、最後まで頑張る大切さを伝えます。

- 望月校外学習
- 親子会食会

- 親子音楽鑑賞会
- 七夕まつり
- すいかわり

- 夏休み

- 4年/勉強合宿
- 親子音楽鑑賞会
- 全校遠足

10月

●聖徳祭

年を追うごとの子どもたちの成長をしっかりと見られるのが「聖徳祭」での舞台発表です。質の高い表現をめざしたステージは、各学年とも趣向を凝らした見応えのあるものに仕上がっています。中でも5年生の「和太鼓演舞」と6年生の「卒業演奏」は、小学生のレベルを突き抜けています。また全校児童で行われる「全校ペーペント」では、本校の縦横のつながりの強さをあらためて実感することができます。フィナーレでは、会場が拍手と感動で包まれます。

11月

- 一輪車大会
- 長なわ記録会
- 感謝の集会
- マラソン大会

12月

- 1・6年/行く年を送る集会

1月

- 書き初め展
- 吹奏楽の夕べ

聖徳学園の中高～大学生、そして大学の先生まで、幅広い出演者たちによって行われる吹奏楽の演奏会に、吹奏楽クラブの児童と合唱団が出演します。

2月

- 1・2年/豆まき集会
- 親子一日入学
- 5・6年/引き継ぎ集会
- 5・6年/卒業生を送るスポーツ大会
- 卒業生を送る集会

卒業生に向けて、それぞれの学年が感謝のメッセージを贈ります。同じ明和班の1年生から心のこもったペンダントを贈られ、思わず涙ぐむ卒業生たち。その気持ちに、卒業生は、卒業演奏で応えます。

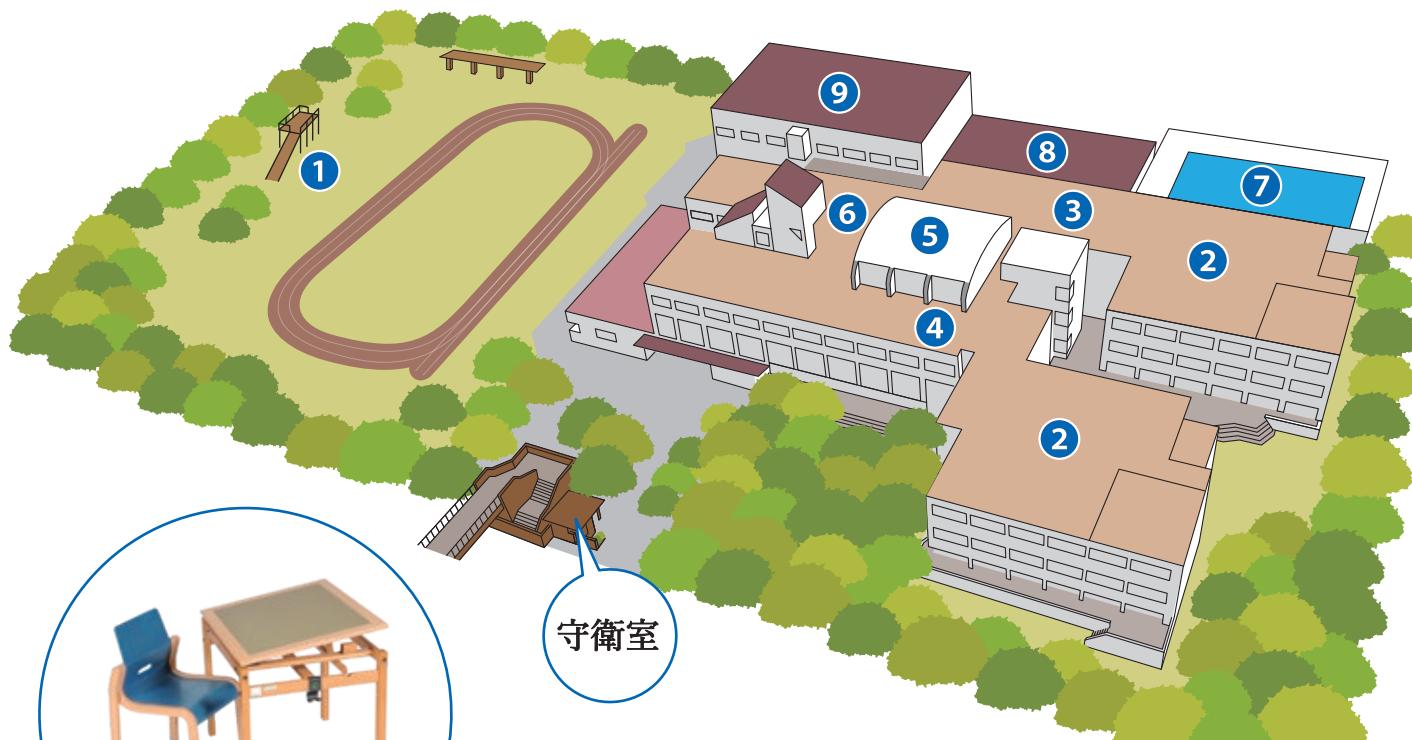
3月

- 1・2年/ひなまつり集会
- 卒業式
- 5年/シンガポール修学旅行



緑に囲まれた学習環境

校舎内にもグラウンドにも、
子どもがのびのび育つ空間がいっぱいです。



3組 2組 1組
ワークスペース

ワークスペースは学年単位での集会などができる広さがあります。さらにパーテーションを使って展覧会場やグループ学習の部屋もつくれるようになっています。

① アスレチック



廊下には子どもたちの作品が所狭しと飾られています。



② 教室



③ 礼法室



④ コンピュータ室



⑤ 図書室



⑦ プール



⑧ 食堂(じきどう)



⑨ 体育館



⑤ ふれあい広場

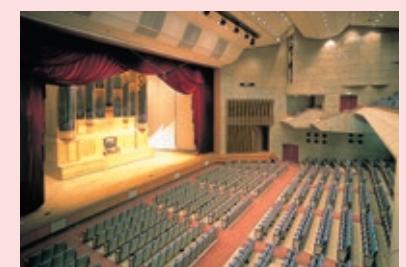


聖徳の子農園 (隣接地)

学校に隣接する聖徳の子専用の農園。明和班活動の一環として農作業が行われています。



年間を通して、聖徳大学の施設も利用しています。



川並香順記念講堂



川並弘昭記念図書館

進路指導

学習や学校生活を通じて「自分」を知り、「自分に合う」学校を
進路として見つけていくように指導しています。

勉強合宿

*感染症対策のため、日程や内容等を変更する場合があります。
自学自習の姿勢を身につけて、これから学習の仕方を学ぶための勉強合宿を行います。事前指導には進学塾の先生も加わります。学習への取り組み方についての講話を聞き、限られた時間に集中して勉強する意識を高めた後、各自の学習に取り組みます。

(4年生／2泊3日の宿泊学習)



コース別授業

「国語科コース別授業」「算数科コース別授業」という特別コースを設け、丁寧な指導を行っています。各科コース別授業はいずれも4コースに分かれ、児童は自分のレベルに合わせたコース選択が可能。カリキュラムは、段階的に無理なくステップアップできる内容となっています。講師には、本校の教員に加え、進学塾との連携による外部講師も採用。普段の授業とは異なるスタイルで児童の意欲を高めながら、よりハイレベルに科目の習熟を図っていきます。

(4年生は3学期から。6年生は2学期まで)



実力テスト

4年生は年1回、5・6年生では年3回実施されます。5年生の3回目と6年生のすべての回は、志望校判定が行われます。

個人面談

全学年、年2回行われます。5・6年生は実力テストの結果をもとに進路指導を行います。受験校に関して保護者の相談に応えます。

保護者会

6年生の保護者会では、前年度首都圏の中学校入試結果から見えてくる傾向をお伝えします。

合格実績

【男子児童】

男子児童の多くは、外部の中学校へ進学します。一人ひとりの個性に合わせた進路相談を重ねながら、より高いレベルの進学を目指します。

合格中学校

開成中学校
麻布中学校
早稲田中学校
慶應義塾中等部
海城中学校
渋谷教育学園渋谷中学校
芝中学校
本郷中学校
暁星中学校
立教池袋中学校
慶應義塾普通部

渋谷教育学園幕張中学校
市川中学校
東邦大学付属東邦中学校
昭和学院秀英中学校
芝浦工業大学柏中学校
専修大学松戸中学校
榮東中学校
立教新座中学校
江戸川学園取手中学校
筑波大学附属中学校
光英VERITAS中学校

※2021年4月より「聖徳大学附属女子中学校」から校名を変更し、共学進学校となりました。

【女子児童】

女子児童の約2割が聖徳学園系列の中学校へ進学しています。男子児童同様に年々高まる、より高いレベルの外部進学へのサポートも行なっています。

合格中学校

女子学院中学校
慶應義塾中等部
豊島岡女子学園中学校
白百合学園中学校
芝浦工業大学柏中学校
学習院女子中等科
専修大学松戸中学校
浦和明の星女子中学校
栄東中学校
大妻中学校
江戸川学園取手中学校
香蘭女学校中等科
成城学園中学校
光英VERITAS中学校 ※
聖徳大学附属取手聖徳女子中学校 ほか

卒業生からのメッセージ

慶應義塾大学 法学部卒業
(聖徳大学附属幼稚園卒園) 森谷 謙太さん

幼いうちから身につけた礼法は
就職活動にも活きました。



私は大学4年で司法試験に合格し、現在弁護士になることを目指しています。就職活動では弁護士の先生と食事をさせていただく機会も多く、その際に聖徳で学んだテーブルマナーや人の話を聞く姿勢などが活かされました。礼法や明和班での活動は、人と関わり合いながら生きていくうえでの土台となっていました。また教育レベルも高く、特にコース別授業では中学受験を見据えた学習をすることができました。

東京外国语大学
言語文化学部 英語専攻

小学校の授業で興味を持った英語が
私に夢をくれました。



鳥海 涼香さん

当時では珍しかった小学校での英語の授業は、私の楽しみのひとつでした。本校での経験をもとに国際的な中学校に進学。高校では2年間カナダ留学することもできました。今のが英語教育に携わること。聖徳での授業が私に英語への興味を引き出してくれました。「漢検」や芸術鑑賞など、様々な経験できる聖徳は、英語に限らず、それぞれの一生モノの好きなこと、得意なことを見つけられる場所だと思います。

開成中学校

馬嶋 八暫さん

受験に向けたスタートが
自然に切れる環境が魅力です。



4年生の3学期から始まったコース別授業は、得意の算数で難易度の高い問題に挑戦することができ、毎回楽しみにしていました。そして同じく4年生でみんなと一緒に勉強合宿を経たことで、受験に向けたスイッチを自然と入れることができました。勉強以外で印象的だったのは明和班です。普段の生活の中で、異年齢集団における自分の立場や役割を知ることができ、人間関係の基礎が身につきました。

白百合学園中学校

加藤 嘉音さん

生きていくうえで
大切な学びがここにあります。



聖徳にはたくさんの思い出があります。聖徳祭で毎日練習に励み、作り上げた達成感。理科では先生が丁寧に評価してくださるノートを見るのが楽しみで、向上心が高まっていったこと。明和会(児童会)役員の会長を務め、先生や友達の応援を背に重責を果たした2年間。そしてもちろん、一朝一夕に身につくことのない礼節を6年間通して学んだ日々。どれもが生きていくうえで大切な財産です。

保護者からのメッセージ

受験だけではない、
心の豊かさまで育てる学び舎。

保護者

川上 幸江さん

怜央くん

保護者

橋本 絵美さん

美澄さん

保護者

川上 幸江さん

怜央くん

保護者

橋本 絵美さん

美澄さん

礼法で娘の成長を実感。
何より大切な「安心感」がある場所。

人としての心を大切にする大人になってほしい。そんな願いから、自然豊かな環境で一流の芸術作品に触れ、礼儀作法を学ぶことのできる本校を選びました。小学校生活はまだ始まったばかりですが、相手の目を見つめたりお礼が伝えられるようになると、娘の成長を感じています。「新年のご挨拶」では礼法で学んだことを堂々と実践しており、感動しました。先生方は個性を尊重し、得意なことは褒め、苦手なことはすぐに気づいて指導してくださいます。明るく接してくださる先生方や、明和班の頼もしい上級生のおかげで、毎日安心して通学することができます。

放課後スクール



希望者には放課後スクールを開催。

児童をお迎えまで(月～金、最長19時まで)

お預かりいたします。

保護者の要望から始まった放課後スクール。それは、机上学習(1・2年生)と、業務委託の「聖徳アフタースクール」からなります。子ども向け体験学習に定評のある(株)プラスワン教育が運営する「聖徳アフタースクール」は、プログラムと放課後預かりで構成。プログラムには、かけっこ、バスケットボール、ゴルフ、英語、サイエンス、プログラミングなどがあり、児童は楽しいひと時を過ごしています。

※長期休業中(夏季・春季、8:00～17:00)にも、業務委託の預かりがあります。



放課後プログラム(プログラミング)

放課後スクール(月～金)

	6校時(14:10～14:55)	15:10～16:00	16:10～17:00	17:10～18:10	18:10～19:00
1・2年	机上学習 ※平常授業は5校時まで				
3～6年	平常授業	プログラム ①	プログラム ②	放課後預かり ①	放課後預かり ②
追加費用	なし	あり *放課後預かりには、ライトミール(軽食)あり			

※机上学習や放課後預かりは、自主学習の支援等をする時間帯です。

※時刻・内容等、今後変更する場合があります。



放課後プログラム(かけっこ)

避難訓練



毎月実施される避難訓練。災害時には、本校独自の防災マニュアルに従って、全教職員で対応いたします。帰宅が困難な場合は、本校に留まらせ、保護者のお迎えを待ちます。松戸駅周辺で災害に遭った場合は、聖徳大学を避難場所としております。学校からの緊急時連絡にはホームページとメール一斉送信で対応しています。児童の携帯電話所持も許可制で認めています。一斉下校訓練、安全教室なども年間計画を立てて実施しています。

登下校対策



登校時は市川駅・松戸駅のバス乗り場にて教員が見守っています。下校時は1・2年生ではすべてのバスに教員が同乗、3～6年生は松戸駅・市川駅にて担当教員が下校の様子を見守る形をとっています。秋山駅を利用する場合は、教員が通学路や駅で見守ります。保護者の要望により自家用車での登校が可能となりました。隣接する光英VERITAS中高校が降車場所となります。お迎えにも駐車場が利用できます。

安全対策



登下校の安心をお知らせする「ICタグ」。児童が正門を通過すると保護者にメールが届きます。また、学校正門では24時間守衛所にて有人監視を行っています。校舎内や学校裏は赤外線センサーによる警備をしています。

制服



低・中学年制服 高学年制服 校内着

夏服



低・中学年制服 高学年制服

冬服

沿革

- ▶ 昭和8年度(1933年度)
学園創立者、川並香順先生・孝子先生が聖徳家政学院と新井宿幼稚園を創立
- ▶ 昭和32年度(1957年度)
財団法人聖徳学園は学校法人東京聖徳学園となる
- ▶ 昭和61年度(1986年度)
聖徳学園短期大学附属小学校開校式・入学式
(1年37名、2年9名、3年7名、4年16名、計69名)
ブロンズ像“HANASAKIMORI”除幕式／望月校外学習<4泊5日>を実施
- ▶ 昭和62年度(1987年度)
5年生が修学旅行で初めてシンガポールへ
- ▶ 昭和63年度(1988年度)
壁画“生命の樹”完成
- ▶ 平成2年度(1990年度)
“聖徳大学附属小学校”に校名変更
- ▶ 平成5年度(1993年度)
聖徳学園創立60周年記念アスレチックコーナー開設
- ▶ 平成7年度(1995年度)
「漢椈」実施(以後毎年)
- ▶ 平成8年度(1996年度)
創立10周年記念式典挙行
図書室がリニューアルされ“夢のある図書室”に
- ▶ 平成9年度(1997年度)
「てのひら文庫賞」読書感想文全国コンクール初参加(以後毎年)
- ▶ 平成12年度(2000年度)
千葉県吹奏楽コンクールに初めて出場し金賞受賞(平成14・16・19年度も金賞受賞)
「みどりの小道」環境日記コンテスト第2回初参加(以後毎年)
- ▶ 平成13年度(2001年度)
増築竣工式を挙行(3組の教室が完成)
- ▶ 平成14年度(2002年度)
小笠原流礼法許状“若葉傳”授与始まる
- ▶ 平成15年度(2003年度)
運動会が赤・青・黄の3色対抗戦に
- ▶ 平成16年度(2004年度)
制服デザインを一新(花井幸子先生デザイン)
- ▶ 平成17年度(2005年度)
創立20周年記念式典挙行
- ▶ 平成20年度(2008年度)
算数科コース別授業開始(週1回)
- ▶ 平成21年度(2009年度)
「放課後遊び」開始(3年以上)
望月校外学習で6年生が初めて世界遺産「富岡製糸場」へ
- ▶ 平成23年度(2011年度)
4年勉強合宿(以後毎年)／「てのひら文庫賞」10年連続最優秀校
- ▶ 平成24年度(2012年度)
「1～3年 放課後スクール」本格実施
- ▶ 平成25年度(2013年度)
「1～6年 放課後スクール(放課後遊び・預かり・プログラム)」実施
- ▶ 平成28年度(2016年度)
創立30周年記念式典挙行
- ▶ 平成30年度(2018年度)
全年学英語が週2時間に
- ▶ 令和元年度(2019年度)
STEM特別授業実施
- ▶ 令和2年度(2020年度)
業務委託による「聖徳アフタースクール」開校

学校 東京聖徳学園

聖徳大学大学院

聖徳大学

聖徳大学短期大学部

聖徳大学幼稚教育専門学校

光英VERITAS高等学校

光英VERITAS中学校

聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校

聖徳大学附属小学校

聖徳大学附属幼稚園

聖徳大学附属第二幼稚園

聖徳大学附属成田幼稚園

聖徳大学附属浦安幼稚園

聖徳大学三田幼稚園

聖徳大学八王子幼稚園

聖徳大学多摩幼稚園

通信教育部

聖徳大学大学院通信教育課程

聖徳大学通信教育部

聖徳大学短期大学部通信教育部

生涯学習 SOA(聖徳大学 オープン・アカデミー)